



第72回 奈良県高等学校陸上競技対校選手権大会

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2019年 公益財団法人 日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

(1) 練習の時間帯は下記の通り。

	本競技場	補助競技場
5月31日(金)	8:00～ 8:50	8:00～16:30
6月1日(土)	8:00～ 9:00	8:00～16:30
2日(日)	8:00～ 9:00	8:00～15:00

※本競技場の練習は競技運営の準備を並行して行うので注意すること。

- (2) 本競技場での練習において、芝生内は全面立入禁止。
- (3) 本競技場での練習は、トラック種目・跳躍種目とする。補助競技場を含め競技場備え付けの用具を使用すること。ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は全面禁止とする。
- (4) 投てき練習は、競技場内外を問わず一切禁止する。(メディシンボール練習も含む)
- (5) レーンの使用については以下の通り。
1～2レーン：中長距離・競歩 3～6レーン：短距離(リレー練習含む) 7～8レーン：ハードル
- (6) 練習会場では、事前に注意事項を確認し遵守するとともに、必ず競技役員の指示に従うこと。

3 招集について

- (1) 招集所は、本競技場第4ゲート外側に設ける。
- (2) 招集開始時刻・完了時刻はプログラムの競技日程欄に記載されている。
- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場する意志がないものとして処理する。
- (4) 招集の手順
 - ① 競技者は、招集開始時刻には招集所で待機し、競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スバイク等の点検を受ける。トラック競技のみ、腰ナンバーカードが競技者係から配布された場合、使用すること。
 - ② ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器、その他外部と連絡可能な電子機器類を競技区域内で所持または使用することを禁止する。
 - ③ 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
 - ④ 代理人による招集の点呼は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻までに所定の「多種目同時出場届」を招集所へ提出すること。(用紙は招集所に準備) その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。
- (5) リレー種目について
 - ① 「オーダー用紙」は、各ラウンドともその種目の第1組目の招集完了時刻の1時間前までに招集所へ提出すること。オーダー用紙はプログラム巻末の所定の用紙に、上下とも記入のうえ招集所へ提出し、控えを受けとること。オーダー用紙の提出がない場合は、当該種目を欠場するものとみなし処理する。
 - ② 出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記(4)④に準ずる。
 - ③ ユニフォームは、同型・同色を原則とする。
- (6) やむなく欠場する場合は、招集開始時刻までに、「欠場届」を提出すること。用紙は、プログラム巻末の所定の用紙を使用すること。
- (7) 混成競技について
 - ① 第1日及び第2日の最初の種目については、招集所にて指定された時刻に行く。2種目以降は、当該競技役員の指示に従うこと。(トラック種目は10分前、フィールド種目は30分前までに現地に集合すること)
 - ② 他種目と重なっている場合は、あらかじめ混成競技係にその旨を告げ、競技者係に「多種目同時出場届」を提出しておけば、直接現地への移動を認める。(トラック種目優先)

4 競技進行について

- (1) 番組編成及びラウンドの通過について
 - ① トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載左側に示された番号順とする。なお、準決勝以降の組み合わせはすべて番組編成員が行い、招集所及びメインスタンド外掲示板で発表する。
 - ② トラック競技における次のラウンドへの進出者について



第72回 奈良県高等学校陸上競技対校選手権大会

(P) (+ α)を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。

- ・レーンに余裕がある場合 同タイム(1/1000秒単位)の選手の出場を認める。
- ・レーンに余裕がない場合 本人または代理人により抽選する。

(イ) 同着により着取りによる進出者が増えた場合、(+ α)での進出者数を減らす。

(ウ) オープンレーンを使用する種目(800m含む)は、同タイム(1/1000秒単位)の競技者は、全員次のラウンドに進める。

(2) 競技について

- ① 当該種目出場競技者以外は競技場内に立ち入ることはできない。
- ② 競技用靴のスパイクの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。
- ③ ナンバーカードは配布された大きさのまま、ユニフォームの胸部と背部つけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、背部または胸部だけでもよい。
- ④ 不正スタートについては、混成競技を除いて、一度の不正スタートでもその責任を有する競技者は失格とする。混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は、すべて失格とする。(競技規則162条6、第200条8、国内ルールを適用)
- ⑤ 男子5000mは、タイムレース決勝とする。ただし、スタート後 20分で競技終了とする。
- ⑥ 男女5000mWはスタート後 35分で競技終了とする。
- ⑦ 男子5000m・女子3000m・男女5000Wは、危険防止のためグループスタートで行う。
- ⑧ 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- ⑨ 男子走高跳においては、Aピット(試技順1~13)、Bピット(試技順14~26)の2ピットで行う。なお、試技時間については各ピットごとに適用する。
- ⑩ 走幅跳・三段跳の1・2組はホームスタンド側、3組はバックスタンド側で行う。
- ⑪ 走幅跳・三段跳ともに1組はAピット(スタンド側)、2組はBピット(トラック側)で行う。ただし、決勝はAピットで行う。
- ⑫ 三段跳の踏切板は予選 11m00、決勝 12m00に設置する。(女子は 9m00)
- ⑬ 予選通過記録は、次のとおりとする。

男子走幅跳	6m40	男子三段跳	13m10	女子走幅跳	4m80
男子砲丸投	12m00	男子円盤投	31m00	男子やり投	46m00

- ⑭ フィールド競技では、つぎの試技時間は、通常の場合越えてはならない。試技時間を越えれば、無効試技として記録する。試技時間残り15秒から黄旗を挙げて競技者に知らせる。

単独競技	通常	2~3人	1人	連続試技
走高跳	1分	1分30秒	3分	2分
棒高跳	1分	2分	5分	3分
その他	1分	1分	—	2分
混成競技	通常	2~3人	1人または連続試技	
走高跳	1分	1分30秒	2分	
棒高跳	1分	2分	3分	
その他	1分	1分	2分	

- (4) 次の種目については、記録測定ラインを設ける。ラインは次のとおりとする。

	砲丸投	円盤投	やり投	ハンマー投
男子	9m00	25m00	40m00	—
女子	8m00	27m00	25m00	—

- (5) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

走高跳	男子	決(練習)1m65・1m80	1m70—1m75—1m80—1m83 以後3cmずつ
	女子	決(練習)1m30・1m50	1m35—1m40—1m45—1m50—1m53 以後3cmずつ
走高跳 (混成競技)	男子	(練習)1m45・1m70	1m50—1m53 以後3cmずつ
	女子	(練習)1m15・1m35	1m20—1m23 以後3cmずつ
棒高跳	男子	決(練習)3m30・4m00 4m50	3m40—3m50—3m60 以後10cmずつ
	女子	決(練習)2m00・2m50 3m50	2m10—2m20—2m30 以後10cmずつ



第72回 奈良県高等学校陸上競技対校選手権大会

5 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。
- (2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。その場合、出場競技者全員で共有できるものとする。検査時刻は、競技開始時刻の80分前から60分前までとし、南用器具庫(フィニッシュ地点横)で行う。

6 開会式及び表彰式について

- (1) 開会式は各校10名の参加とし、縦一列に集合すること。ただし、雨天時は正面玄関スタンド下で、各校代表1名の参加により行う。
- (2) 各種目6位までの入賞者を表彰する。成績発表後直ちに受賞者席(メインスタンド下中央ロビー)に集合すること。
- (3) 表彰式では以下の表彰を行うので当該校(者)は必ず参加すること。
 - ① 男女別総合と男女トラック・フィールドの部で6位までに入賞した学校
 - ② 男女の最優秀競技者
 - ③ 男女各総合優勝校の監督

7 一般的注意事項

- (1) 競技場の開門は、3日間とも8時00分とする。
- (2) 記録は、メインスタンド外の記録掲示板に掲示する。
- (3) 競技者の入退場は競技場の各ゲートから行き、みだりに競技場内(本部席前)の横断や通過はしないこと。
- (4) 応援はスタンドで行い、立入り禁止区域には入らないこと。メインスタンドでの集団応援は禁止する。
- (5) 更衣室の使用は更衣のみとし、使用後は速やかに退室すること。また、一切の私物を置いてはならない。なお、正面玄関からの出入りは禁止する。
- (6) 競技中に起こったケガについては、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (7) スタンド等使用した場所は、各校で責任を持って清掃し、ゴミ等は各校で持ち帰ること。駅・競技場周辺のゴミ箱等には絶対放置しないこと。
- (8) 貴重品、荷物等は各自・各校管理し、盗難等に十分注意すること。
- (9) 個人情報の取り扱いに関して
 - ① 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しない。
 - ② 参加申込書の提出により、上記①の取り扱いに承諾を得たものと見なし氏名・学校名・学年・記録を紹介し掲示板に掲載する。また、本大会が認めた報道機関にも公表する。入賞者は報道機関の取材を受けることがある。
 - ③ 本部が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・大会報告書・ホームページ等で公表されることがある。